

財務諸表に対する注記

1.継続事業の前提に関する注記
継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針
- (1)有価証券の会計基準および評価方法
すべての有価証券が満期保有目的の債券。償却原価法(定額法)によっている。
ただし、取得差額が微小であるため、取得価額を帳簿価額としている。
 - (2)棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当なし
 - (3)固定資産の償却の方法
該当なし
 - (4)引当金の計上基準
該当なし
 - (5)リース取引の処理方法
該当なし
 - (6)消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込方式によっている。

3. 会計方針の変更
平成20年度会計基準を採用

4. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高
基本財産及び特定資産の増減及びその残高は次のとおりである。(単位 円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期期末残高
基本財産				
投資有価証券	299,896,400	0		299,896,400
定期預金	103,050	0	13,550	89,500
普通預金	550	13,550	0	14,100
小 計	300,000,000	13,550	13,550	300,000,000
特定資産				
特定預金	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
合 計	300,000,000	13,550	13,550	300,000,000

5. 基本財産の財産源の内訳
基本財産の財産源の内訳は次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般定正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
投資有価証券	299,896,400	299,896,400	0	－
定期預金	89,500	89,500	0	－
普通預金	14,100	14,100		－
合 計	300,000,000	300,000,000	0	－

6.満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は次のとおりである。

科目	帳簿価額	時 価	評価損益
愛知県グリーンボンド	30,000,000	30,072,000	72,000
利付国債 10年 第361回	59,970,000	58,626,000	△ 1,344,000
ソフトバンクリパッケージ債	100,000,000	101,900,000	1,900,000
みずほFG劣後債	60,000,000	59,886,000	△ 114,000
みずほFG劣後債	49,940,500	49,710,000	△ 230,500
合 計	299,910,500	300,194,000	283,500